

第58期

株主通信

2022年12月期

(2022年1月1日～2022年12月31日)

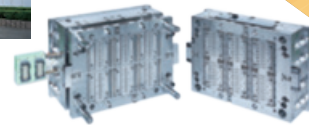
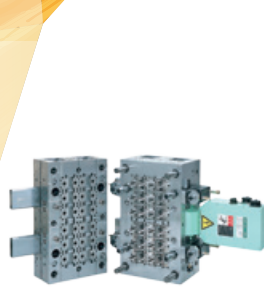
株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年12月期の株主通信をお届けいたします。

社訓(私たちの価値観)

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」



PRODUCT MOTHER

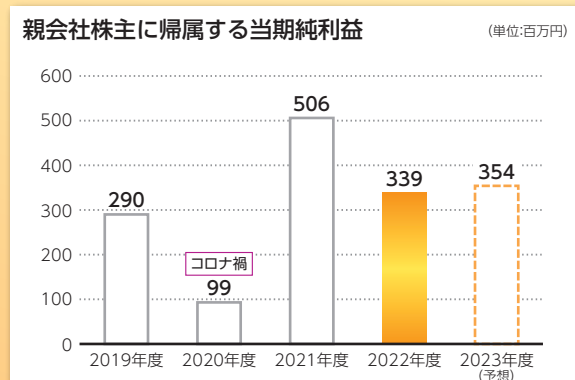
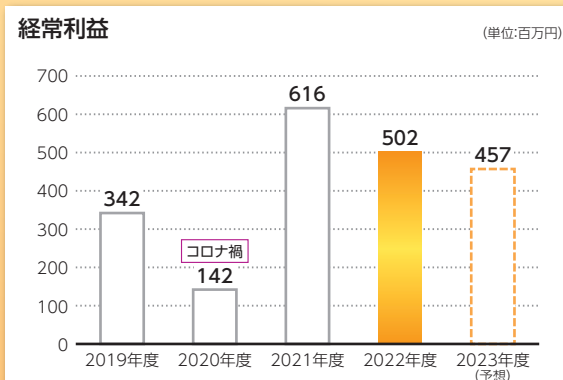
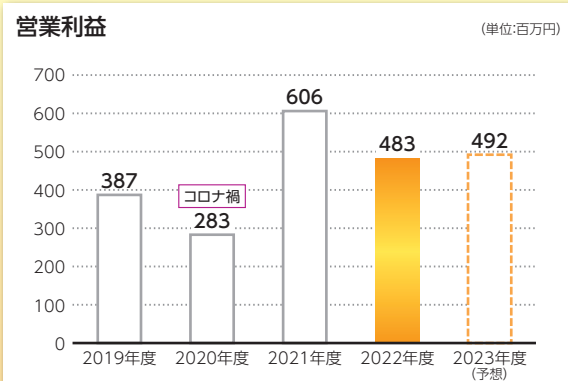
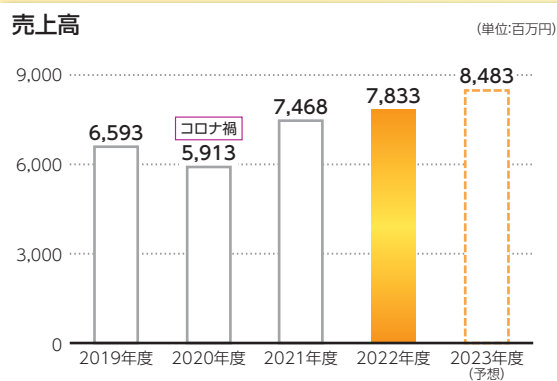


不二精機株式会社



証券コード: 6400

連結財務ハイライト



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

2022年度の売上高は、前年度に比べ新型コロナウイルス感染症の影響があったものの精密金型事業及び精密成形品事業のいずれも増加し、前期比3億65百万円増(4.9%増)の78億32百万円となりました。

営業利益は販管費の抑制に努めたものの、主として利益率の高い医療用関連金型の検収が集中したことで上場年度後の最高益を達成した前期に比べ利益率が低下し、前期比1億22百万円減(20.3%減)の4億82百万円となりました。

経常利益は営業利益の減少に加え、為替差益などの増加により営業外収益が13百万円増加した一方、シンジケートローン契約更新による手数料の発生により営業外費用が4百万円増加したことなどにより、経常利益は前期比1億13百万円減(18.4%減)の5億2百万円となりました。

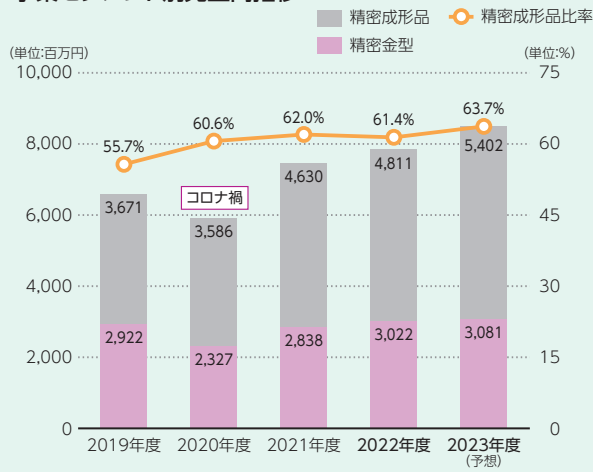
親会社株主に帰属する当期純利益は経常利益の減少に加え、前期に中国常州の子会社で土地売却益80百万円を計上した一方で、当期は上海市のロックダウンにより新型コロナウイルス関連損失25百万円が発生したことにより、前期比1億66百万円減(33.0%減)の3億38百万円となりました。上海市では上海不二精機有限公司が事業を行っており、ロックダウン解除以降、工場の稼働率は徐々に回復し、現在は平常通りの操業となっております。

2023年度は、精密成形品事業において自動車部品の受注拡大に注力し、今年操業開始予定の鈴鹿工場を拠点として次世代のEV関連部品などの新製品への研究開発投資・設備投資を重点的に実施いたします。

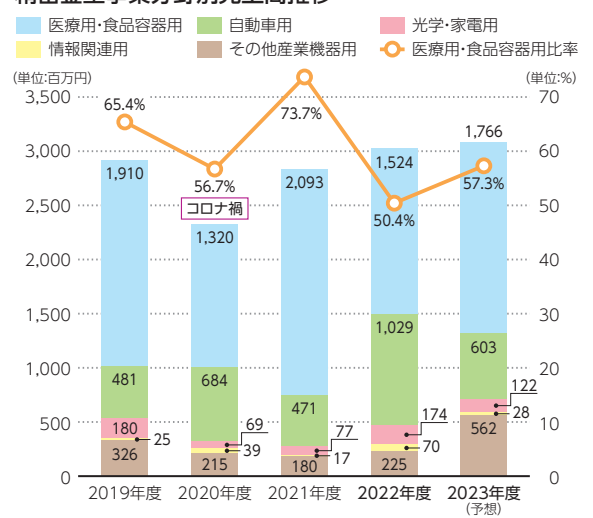
上記の将来を見据えた先行投資により、2023年は営業利益の伸びの鈍化を予想しますが、確実な成長を目指して参ります。

概況

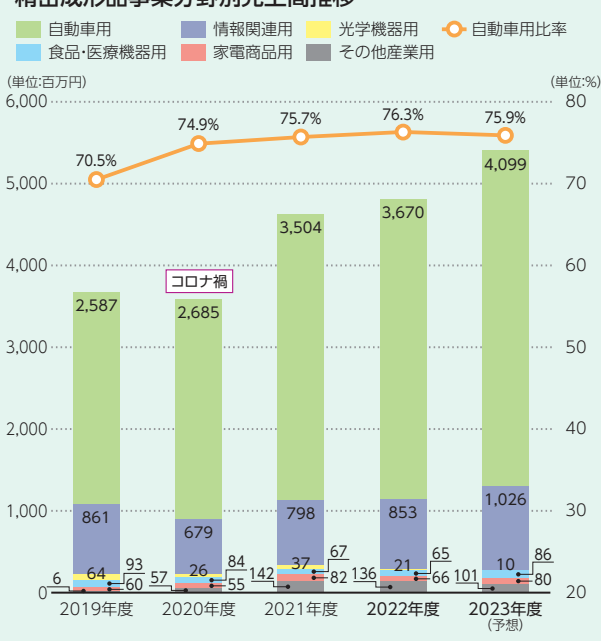
事業セグメント別売上高推移



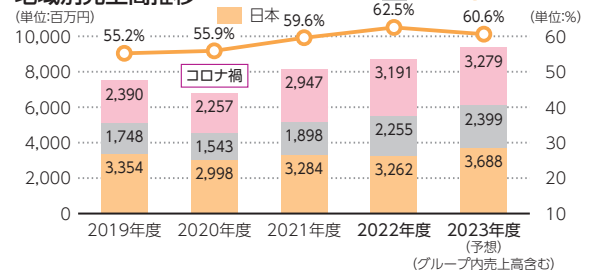
精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。(右ページの「事業構造の変遷」をご参照ください。)

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年以降、売上全体の約60%で推移しております。

中期的な方針として、売上規模の拡大は精密金型事業ではなく、自動車用分野を中心とした精密成形品事業で計画しております。

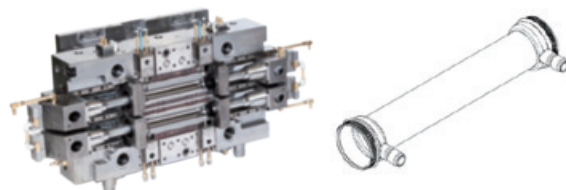
2023年につきましては、精密金型事業での安定的な受注の継続及び精密成形品の増産による売上高の増加を目指しております。

精密金型事業<分野別>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動による製品の他社との差異化およびDXを活用したコスト構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【人工透析部材用金型】



精密成形品事業<分野別>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質保証体制のレベルアップを着実に実施し、今後増加する受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

拡大が予想されるEV(電気自動車)向けなどの次世代の新製品開発を、今年操業開始予定の鈴鹿工場を拠点に重点的に進めて参ります。

【4輪車関連の受注部品例】



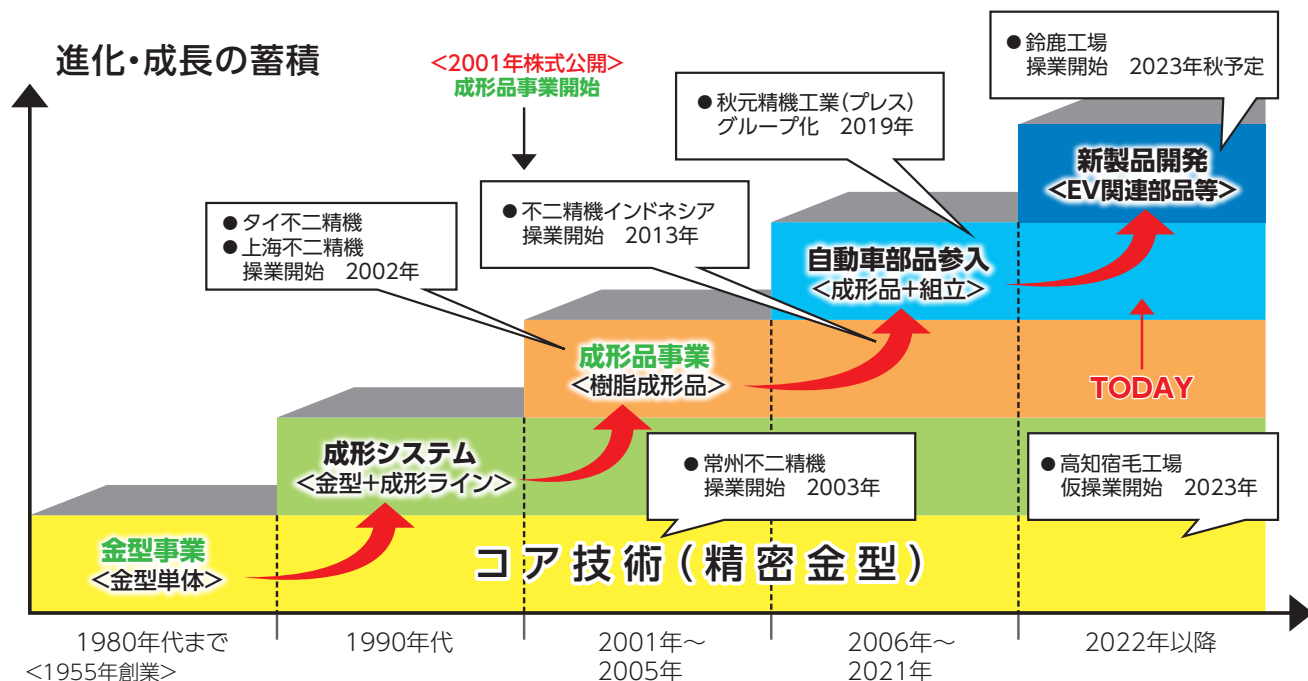
地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強と品質保証体制の整備を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦や中国当局による各種の規制強化などを勘案し、中国国内市場の新規開拓および生産性の向上、固定費の圧縮などにより一定の利益の確保を目指しております。

TOPICS トピックス

事業構造の変遷 – 金型から金型+成形品へ –



デンソー様、日立Astemo様から賞をいただきました。

2021年度
BEST PERFORMANCE SUPPLIER



2021年度
BEST QUALITY ACHIEVEMENT



2021年度
Supplier Award



2022年9月 デンソー様から受賞しました。

『2021年度BEST PERFORMANCE SUPPLIER』

『2021年度BEST QUALITY ACHIEVEMENT』

デンソー様へのインドネシア国内での製品供給及び開発協力が評価されたものです。

特にBEST PERFORMANCE SUPPLIER賞は、インドネシア国内の取引先400社中1社の受賞です。

2023年2月 日立Astemo様から受賞しました。

『2021年度Supplier Award』

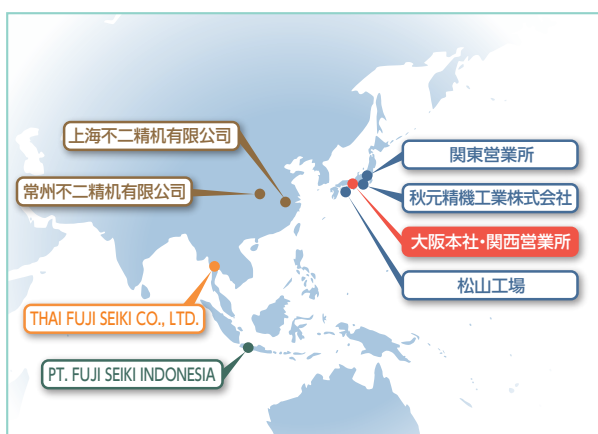
日立Astemo様のグローバル拠点への製品供給および開発協力が評価されたものです。

Supplier Awardは、Quality Cost Delivery Serviceの項目が総合的に評価されたSupplierに贈られる賞で、約4,000社中、当社を含む10社が選ばれています。

会社概要 (2022年12月31日現在)

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	108名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

ネットワーク (2022年12月31日現在)



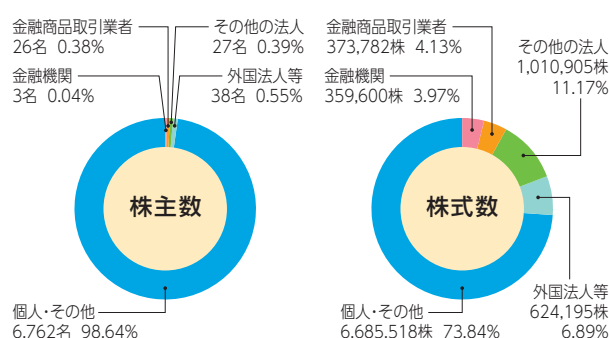
役員 (2023年3月29日現在)

代表取締役社長	伊井剛
常務取締役	藤本由数
取締役	塩井寿史
取締役	北林勝博
取締役(社外)	高橋秀昭
常勤監査役	菅一明
監査役(社外)	梅田浩章
監査役(社外)	橋本豊嗣

株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	6,856名

株式所有者別状況 (2022年12月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。
	公告掲載URL https://www.fujiseiki.com/ir/public/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com>

